

1. 校長あいさつ

(ア) 校内組織の見直し

学校管理規則の改正に伴い、新たに「主幹教諭」おくこととする。

組織も、「指導部」「研究部」「総務部」と改めて再編制する。

(イ) 勤務時間の割振の弾力化

授業や生徒活動に支障を生じさせない中で、1 日の勤務時間の開始・終了時刻の変更や 8 時間を超える勤務時間の割振る場合は、その分の時間について別の日に 8 時間未満の勤務時間を割り振ることとなる。

週休日等の部活動などの指導については、長期休業中などに振り替える。

2. 懇話会(今年度の反省と来年度に向けて)

(ア) 学校評価アンケートの結果について(別紙資料にて)

生徒・保護者・地域・教職員の学校評価を集約する。4 段階評価については、どの項目についても、「4」「3」の割合が多く、おおむね良いと考える。学校目標については、保護者、生徒ともに周知度が低いと言える。さらに学校からの情報発信が必要であろう。

自由記述では、防犯について、部活動について、施設について、進路について、評価について...などが寄せられた。

特に、進路(高校受験)について、受験のシステムそのものについての疑問や、調査書のあり方、中高一貫教育の良さ、公立高校の良さ、進路指導のあり方など各参加者の立場からさまざまな視点で話し合いがもたれた。

子ども一人ひとりの個性や、思いを生かす進路指導が必要であること。ただ漠然と進むのではなく、自分の将来の進む道を見据えたうえでの選択が大切であるということが話題となる。そこには、家庭での教えや親の自信、自分を正しく評価できる子どもの育成などが今後の課題となる。

防犯については、近隣自治会でも積極的な取り組み(安心パトロール、わんわんパトロールほか)をしていることを紹介された。また、行政との連携で有効な予算の執行を進めているとの報告もあった。

アンケートの設問がわからない(答えられない)というご批判もいただいた。受け手がどう感じるかで、回収率も決まってくる。来年度の課題である。

(イ) 器物破損弁済システム導入について

あくまでも指導の一環として、弁済システムを導入する。保護者にもその意図を正しく理解していただくよう、PRが必要である。

(ウ) 平成 18 年度の学校行事について

休日の生徒の活動が多くなって来るため、来年度の宿泊行事、体育祭・文化祭などを平日開催としていく。

(エ) 周年行事について

来年度に準備委員会を立ち上げて、将来的なことも視野に入れながら進めていく予定である。

(オ) その他

3. 来年度の委員について

原則的に、今年度のメンバーで進めていく。

4. 会長あいさつ

来年度は、ミニリンピックが桂台中学校会場で実施予定である。来年度をもってこの行事は、最後となる予定である。様々な課題はあるが、桂台中学校区でのそれに代わる行事がもてないか検討していきたい。

今後は、自治会も子どもを再度地域に呼び戻す試みをしていきたい。

桂中会だよりは、下記アドレス(桂台中学校 H.P.)にも掲載いたしました。

桂台中ホームページ URL: <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/katsuradai/>

また、桂台中学校 H.P.には、YY ネット(横浜市教育情報ネットワーク) > よこはま学校探検 > 栄区 > 桂台中 でも閲覧することができます。